

2020年4月15日

## 新型コロナウイルス感染症に対応する救急看護師の皆様へ

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染が拡大する中、昼夜を問わず救急医療の第一線で活動する救急看護師の皆様に心より敬意を表します。

会員の皆様からは、救急医療現場で直面しているさまざまな情報が寄せられました。マスク、ガウン等の医療物資の圧倒的不足、受診を断られた感染疑いの患者が救急外来に押し寄せる、本来の重症救急患者への十分な対応ができない、救急外来から院内感染が広がるなど多くの問題が生じ、救急医療体制の崩壊が迫っていると認識せざるを得ない状況です。

問題はそればかりではありません。救急看護師を含む医療者自身が感染する危険がある、自身が濃厚接触者で家庭での居場所がない、限られたスタッフで対応せざるを得なく疲弊している、感染疑いの患者に手探り状態で処置をしなければならない、感染患者に対応した看護師に対する周囲からの偏見やハラスメントなど、救急看護師自身がストレスを抱え、強烈な不安と恐怖を覚えています。

このような状況では、救急医療体制の崩壊が起こる前に、看護組織の「内部崩壊」が生じるのではないかと危機感を抱いています。

皆様をお願いします。

看護チーム、医療チームが協働して対応する姿勢を持ち続けて下さい。国民の命を守るといった使命感に押し潰されないで下さい。疲弊している同僚にねぎらいの言葉をかけて下さい。恐怖と隣り合わせで戦っている自分を褒めて下さい。辛かったら、同僚や家族にその心情を吐露して下さい。

皆様の活躍に心より敬意を表すると共に、ご自身の体調管理に十分ご留意くださいますようお願い申し上げます。

一般社団法人 日本救急看護学会  
代表理事 山勢博彰